

科目名	選択ダンススキル5							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	安藤未緒		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロシンガー	
【科目の目的】									
通年で基礎呼吸法、リズムトレーニングによる発声練習を行いヴォーカルの基礎力を養うとともに、個人指導を含む歌唱指導やダンスボーカルグループを組んでの実技指導を行います。必要に応じて、ダンスボーカル以外の呼吸法の指導を行うこともあります。授業時は個人指導を行う時間もあるため、メモを取りながらの授業参加も可能です。									
【科目の概要】									
この科目ではボーカルの基礎となる呼吸法を修得するための演習を中心に行います。ボーカリストとしての基本はもちろんのこと、「ダンスボーカル」を意識した呼吸法を習得します。必要に応じて課題曲の発表やグループでのアンサンブルを実施します。ライブパフォーマンスの実習などを経て、自身の個性を生かしたパフォーマンスができるように表現力を磨くことが目的です。									
【到達目標】									
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。									
【授業の注意点】									
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ボイスエクササイズを 実践でき、日常的に継 続できる		ボイスエクササイズを 実践できる		ボイスエクササイズを 実践できない				
到達目標 B	発声の基本的なメカニ ズムを理解でき、簡潔 に説明できる		発声の基本的なメカニ ズムを理解できる		発声の基本的なメカニ ズムを理解できない				
到達目標 C	ステージ上の音量バラ ンスを調整でき、細か い指示を出せる		ステージ上の音量バラ ンスを調整できる		ステージ上の音量バラ ンスを調整できない				
到達目標 D	3声のコーラスワーク ができ、周りとのバラ ンスを意識できる		3声のコーラスワーク ができる		3声のコーラスワーク ができない				
到達目標 E	発表会でベストパ フォーマンスでき、次 の目標を設定できる		発表会でベストパ フォーマンスできる		発表会でベストパ フォーマンスできない				
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する							
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する							
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		選択ダンススキル5			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる	2
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる	
			3	講師からの講評	自分の課題を発見できる	
2	ボーカルレッスン1①	自分の歌声について知る	1	声域チェック	自分の声域を把握できる	2
			2	歌声の特徴	自分の声を録音し、声の特徴を把握できる	
			3	目標設定	ボーカリストとして目指す方向性の設定ができる	
3	ボーカルレッスン1②	歌う前のウォーミングアップ	1	リップロール/タングトリル	リップロールとタングトリルをスムーズにできる	2
			2	ポルタメント	ポルタメントをスムーズにできる	
			3	ストレッチ	歌う前の適切なストレッチが出来る	
4	ボーカルレッスン1③	基本的な発声トレーニング	1	正しい姿勢と脱力	正しい姿勢と脱力ができる	2
			2	ボイスエクササイズ	それぞれに適したボイスエクササイズを実践できる	
			3	継続	ボイスエクササイズを通して安定した発声ができる	
5	ボイストレーニング①	声帯について学ぶ	1	声帯の位置	声帯の位置について理解できる	2
			2	声帯の筋肉	声帯の筋肉の種類について理解できる	
			3	ボーカルフライ	声帯の位置を実際に感じ取ることができる	
6	ボイストレーニング②	様々な発声のタイプについて学ぶ	1	発声のタイプ	ライトチェスト/ブル/フリップなどのタイプを理解できる	2
			2	地声と裏声	地声と裏声の違いを理解できる	
			3	男女の音域	男女の音域の違いを理解できる	
7	ボイストレーニング③	様々な発声のメカニズムについて学ぶ	1	チェスト	チェストボイスのメカニズムを理解できる	2
			2	ヘッド	ヘッドボイスのメカニズムを理解できる	
			3	ミックス	ミックスボイスのメカニズムを理解できる	
8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1	発声練習	発声練習によるウォームアップができる	2
			2	課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる	
			3	講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる	
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1	モニターバランス	モニターの音量と向きを調整できる	2
			2	バンドの音量	ステージ上の楽器の音量バランスを調整できる	
			3	グルーヴ	生バンドのグルーヴを感じ取ることができる	
10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	2
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる	
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる	
11	コーラス①	課題曲練習	1	聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる	2
			2	ハモリ	メロディーを聞き頭の中でハーモニーラインを鳴らすことができる	
			3	実演	グループでのコーラスワークができる	
12	コーラス②	コーラスワークについての理解を深める	1	表現	楽曲を理解し、オブリガードやウーアをつけることができる	2
			2	構築	声のブレンディングとハーモニーの構築ができる	
			3	ジャンル	ポップ、ジャズ、ゴスペルに触れそれぞれの表現を実践できる	
13	コーラス③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	2
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる	
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる	
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる	2
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる	
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる	
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる	2
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる	
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等